

平成26年度 野生傷病鳥獣保護収容事業関係者研修会 「県民公開講座」を開催

平成26年11月2日（日）午後1時30分から新潟ユニゾンプラザで野生傷病鳥獣保護収容事業関係者研修会が公開講座として開催され、一般県民（野鳥愛護会会員含む）及び動物病院開業獣医師等の24名の方から参加をいただきました。

主催者として、当会楠原会長理事の開会挨拶に続き、後援者の新潟県県民生活・環境部環境企画課 長谷川課長補佐からご挨拶をいただいた。

研修会（公開講座）の講師は、新潟地域振興局林業振興課 布川耕市課長で「私の出会った野生動物たち」と題して講演をいただきました。

講演では、先生がその自然に魅了され移住した胎内市の奥胎内、県職員として長年にわたり勤務した村上市（旧朝日村）の新潟県森林研究所周辺に生息する「ニホンカモシカ」、「ツキノワグマ」、「ニホンザル」、「キツネ」、「リス」等の生態について多数の貴重な写真とともに紹介された。外来生物による生態系に係る被害を防止し、生物多様性の保全のためには、ペット飼育も含めた適正な飼育方法が必要となることを強調された。

また、「カモシカ」と出会った時に写真を撮るには、音を立てずに『阿波踊り（男踊り）』をすると3m位は接近可能でシャッターチャンス。《「カモシカ」の視力は劣るが音に敏感。》というウイットに富んだ解説をされた。

講演終了後に先生の主要研究課題の「松くい虫」についての質問に詳細な解説をいただき、盛会裏に公開講座が終了した。



講演される 布川耕市 先生



受講の様子